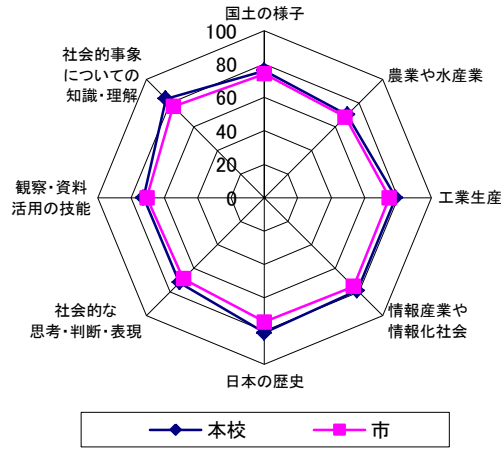


宇都宮市立平石北小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	76.2	74.1	72.5
	農業や水産業	70.2	68.4	61.6
	工業生産	78.6	74.7	68.2
	情報産業や情報化社会	78.6	75.3	74.0
	日本の歴史	81.0	74.4	69.3
観点別	社会的な思考・判断・表現	71.8	68.7	64.2
	観察・資料活用技能	72.6	70.3	68.1
	社会的な事象についての知識・理解	83.7	77.3	72.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	・正答率は、宇都宮市の平均をやや上回っている。 ・日本の気候をグラフから読み取り地域を指摘する問題については、正答率が市の平均を下回り、33%となっている。	・地図や表、グラフから、その地域の特色に気付くことができるよう児童に働きかけたり、自分の言葉でまとめる活動を取り入れたりしながら、授業の展開を工夫していく。 ・児童がこれまでに学習した内容を用いて横断的に考えられるよう、他教科とも関連を図る。
農業や水産業	・正答率は、宇都宮市の平均をやや上回っている。 ・日本の食料生産について、資料をもとに判断したり、地図から読み取ったりする問題においては、市の平均を10ポイント以上下回っている。	・地図や表、グラフから、その産業の特色に気付くことができるよう児童に働きかけたり、自分の言葉でまとめる活動を取り入れたりしながら、授業の展開を工夫していく。 ・児童がこれまでに学習した内容を用いて横断的に考えられるよう、他教科とも関連を図る。
工業生産	・正答率は、宇都宮市の平均をやや上回っている。 ・日本の工業地帯の特色について、地図から読み取る問題においては、市の平均とほぼ同じだが、57%と低くなっている。	・地図や表、グラフから、その工業の特色に気付くことができるよう児童に働きかけたり、自分の言葉でまとめる活動を取り入れたりしながら、授業の展開を工夫していく。 ・児童がこれまでに学習した内容を用いて横断的に考えられるよう、他教科とも関連を図る。
情報産業や情報化社会	・正答率は、宇都宮市の平均をやや上回っている。	・地図や表、グラフから、その特色に気付くことができるよう、児童に働きかけたり、授業の展開を工夫したりしていく。
日本の歴史	・正答率は、宇都宮市の平均を上回っており、特に奈良時代から鎌倉時代について、明治時代大正時代については、市の平均より10ポイント以上高くなっている。 ・年表を読み取り答える問題では、市の平均より10ポイント低くなっている。	・地図や表、グラフから、その時代の特色に気付くことができるよう児童に働きかけたり、自分の言葉でまとめる活動を取り入れたりしながら、授業の展開を工夫していく。 ・実生活や時事問題とも関連を図り、児童が社会情勢などに興味、関心がもてるようにする。